

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：グローバルキッズたまプラーザ保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：小林 歩	定員（利用人数）： 60名(53名)
所在地：横浜市青葉区美しが丘2-17-16 Wisteria Light 1・2F	
TEL：045-901-4141	
ホームページ：www.gkids.co.jp	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2015年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社グローバルキッズ	
職員数	常勤職員： 14名 非常勤職員： 9名
専門職員	（保育士） 18名 （保育補助） 1名
	（看護師） 1名 （栄養士） 1名
	（調理員） 2名
施設・設備の概要	（居室数）保育室6
	（設備等）事務室・医務室・給食室・給食前室・職員更衣室・シャワー室・沐浴室

③理念・基本方針

【企業理念】	子ども達の未来のために
【保育理念】	豊かに「生きる力」を育てる
【園保育目標】	1.笑顔であいさつ、元気にあそび 2.明るく素直な子ども 3.一所懸命楽しいことをする子ども
【園保育方針】	1.どんな場面でもあいさつを忘れず、年齢に合わせた玩具や環境の中で、のびのびと遊べるよう保育をする 2.子どもの気持ちを包む大きな心を持ち、一人ひとりをしっかり受け止め、本来の姿を引き出す

④施設・事業所の特徴的な取組

園は駅から徒歩5分の近くにあり、住宅街に囲まれた場所にあります。近くには自然豊かな公園が多く、散歩コースになっており、季節ごとにいろいろな植物に触れることができます。近隣には多くの保育園があり、年長児を中心に交流が盛んな地域です。行政は「次世代郊外まちづくり」に参画しており、子育てに関する様々な業種、職種の方との情報共有を行っています。

園ではコーナー保育の環境設定をしており、1階と2階の絵本コーナーでは、子どもたちが自由に絵本に親しんでいます。
 子どもの意欲を大切に、主体的に遊びこむ環境を目指しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年6月17日（契約日）～ 令和3年1月21日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（平成29年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)全職員が保育の質の向上を目指し取り組んでいます

園では、保育理念、保育目標の実現に向けて専門性に特化した園内研修やグループワークでの事例検討を行っているほか、保育にあたる基本姿勢や業務の手引きをまとめた「ガイドブック」を作成し、園の保育の方向性を職員全体で共通理解できるようにしています。

職員は、食育チームとリスクマネジメントチームの取り組みを通して保育内容の充実を図っており、各クラスの担任保育士と看護師、栄養士は、それぞれが行った活動内容や環境設定を詳細にまとめて参考資料を作成し、保育の実践を振り返りながら次の計画の作成につなげるなど、より質の高い保育の実践を目指して園全体で取り組んでいます。

2)子どもの主体性を大切にした保育を実践しています

施設長は、子どもの最善の利益を常に意識し子どもの主体性を大切に保育にあたることを職員に伝えています。職員は、子どもの力を引き出すためのより良い環境構成や活動内容などについて話し合っており、子どもの自由な発想を大切に遊びが展開できるよう援助しています。

新型コロナウイルス感染予防のため、行事や活動などに制限が生じている中でも、夏祭りの代わりに行った夏祭りごっこでは、子どもたちがアイデアを出し合いながらお店屋さんやゲームコーナーを製作して楽しんだり、クッキングの代わりに小麦粘土でスイートポテトを思い思いに作ったり、園のこれまでの取り組みを生かして活動内容を工夫し子どもの主体性を大切にした保育の実践につなげています。

3)地域交流により地域の子育て支援に取り組んでいます

次世代郊外まちづくりに参画しており、タウンミーティングで様々な業種の人と意見交換を行っています。近隣の高齢者施設や保育園と継続的な交流を行っており、園の活動を写真入りで紹介した新聞を子どもたちが作成し近隣の保育園間で交換するなど、様々な取組をしています。

地域子育て支援事業計画にもとづいて交流保育・育児講座等を実施しており、地域の子育てイベント会場では保護者からの相談に応じています。地域との交流で把握した子育て支援ニーズにもとづいた取組を行い、育児に関する知識・技術を地域に還元しています。

◇改善を求められる点

1)人材の確保・定着に関する取り組み

職員の経験やキャリアに応じた研修の機会を確保し、グループワークなどを通して職

員が主体的に業務に取り組める体制を構築しています。施設長は定期的な個別面談で職員の意向を確認し、心身の健康やワークライフバランスに配慮しています。園では短時間勤務ができる制度や各種の福利厚生があり、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいますが、人材の確保や定着率に反映していないため、さらなる取り組みが期待されます。

2) 子どもの外遊びについての工夫

子どもの自由な発想を大切に遊びが展開していくようにコーナーづくりや素材や道具を準備するなどしています。散歩や近隣の公園に出かけ遊び、近隣施設を訪問し、地域の人たちと接する機会を設けています。しかし保護者からは散歩や運動会、プールで等外遊びの機会への要望があります。新型コロナウイルスの影響の中で子どもが遊べる工夫をするとともに保護者の理解を得るような配慮が期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園から6年経ち、2度目の受審となりました。前回の課題を踏まえて、園の保育目標、保育方針を職員で見直し、「まずはやってみよう」と様々な挑戦、実践をしてきました。中でもグループワーク（食育、リスクマネジメント）を始め、職員で多様な研修を行い、子ども達の活動や安心、安全な保育に向けて取り組んできたことは、園全体の保育の質を高める一歩に繋がったと思います。保護者の皆さまから頂いたアンケートのお言葉は職員一同の励みにもなり、また、今後の新たな保育活動を考える導きと受け止めてまいります。

今年度は新型コロナウイルス感染症という誰もが経験のない出来事に直面し不安な日々を送る中で、保護者の皆さまには温かく見守っていただきながら、保育の方法や運営面での工夫をし進めてまいりました。

これからも子どもの最善の利益を一番に考え、子ども達の未来のために、子ども一人ひとりと向き合い、大切な時期を安心して過ごせる、地域に根差した保育園を目指していきたいと思っております。

保護者の皆さまには、お忙しい中アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。また、評価機関の皆さまには職員の気持ちに寄り添ってご指導賜りましたこと、感謝申し上げます。

ありがとうございました。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり